

## 第61回日赤薬剤師会臨床薬学研修会

テーマ：臨床研究の扉を開こう

日時：2026年 3月 15日（日） 9:00～12:15

開催場所：日本赤十字看護大学

開催方法：集合研修およびWEB配信（ハイブリット方式）

参加費：日赤薬剤師会会費 1,000円 非会員 5,000円

主催：日赤薬剤師会

連絡先：yakuzaibu@med.jrc.or.jp

9:00

○会長挨拶：森 英樹（日赤薬剤師会会長・岡山赤十字病院）

○特別講演

9:05～10:05

座長：森 英樹（日赤薬剤師会会長・岡山赤十字病院）

研究計画書の作成と倫理審査～クリニカルクエストからはじまる薬剤師の臨床研究～

岡山大学 薬剤部 臨床試験支援主任、  
新医療研究開発センター 治験推進部 副部長 黒田 智 先生

10:05～10:35

座長：滝澤 康志（飯山赤十字病院）

臨床研究の扉を開こう～失敗から学ぶ論文投稿への第一歩～

野口 裕介（京都第二赤十字病院）

10:35～10:45 休憩

10:45～12:15

○優秀論文賞受賞講演（各15分）

座長：堀 大（北見赤十字病院）・小池 彩子（岡山赤十字病院）

- 1) オレキシン受容体拮抗薬を主とした睡眠導入剤適正使用フォーミュラリー導入による、  
睡眠導入剤処方件数と転倒患者数の推移に関する実態調査

中村 隆志（仙台赤十字病院）

- 2) Establishment of an Antimicrobial Stewardship Program to Spare the Use of  
Oral Fluoroquinolones for Acute Uncomplicated Cystitis in Outpatients

加藤 智之（武蔵野赤十字病院）

- 3) 抗菌薬適正使用支援チーム薬剤師によるバンコマイシン注の薬物血中濃度モニタリングに関するタスク・シフト/シェア体制の構築と有用性の評価

古川 早矢香（横浜市立みなと赤十字病院）

- 4) Impact of Introducing an Automatic Dispensing Device to Pharmacist  
Duties for Internal and External Medications

久保田 令枝（飯山赤十字病院）

5) Robotic Process AutomationとDatawarehouseを活用した観血的処置後の一時中断薬再開忘れ防止対策

櫛原 朋恵（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

12:20

○閉会挨拶：村上通康（日赤薬剤師会副会長・松山赤十字病院）

※日病薬病院薬学認定薬剤師制度単位 II-6（現地参加者のみ、事前申し込み必須）